



(第41号)

航跡

早稲田ヨットクラブ

2003年6月発行

発行者：理事長 金刺高雄

編集：事務局長 平戸雅幸

新しい早稲田ヨットの構築を

早稲田ヨットクラブ会長 土肥丈志 (S36年)

去る3月のOB総会において新理事長に金刺高雄君(42年卒)副理事長に武藤忠君(46年卒)を中心とする新理事諸氏が選出され、これから二年間早稲田ヨットクラブの運営をされることになりました。新理事会には建設的な意見の交換と討議を真摯に交し実り多い結果を期待しております。

既にOB諸兄弟にはスポーツ科学部の創設、体育局のスポーツセンターへの改組、更にはオープン教育センターへの保健体育実技の移管等など、早稲田大学の变革については充分ご承知の事と存じますが、このような变革の時にあたり我々OB会の果たすべき役割は益々その重要性を高めております。

白井新総長の入学式におけるスピーチの中にも、運動部各部に対する期待は極めて高いものがあり、常に一流の結果を残すべく期待されております。このような環境下我々OBは何を為すべきか、今ほど強く求められている時代は無いと存じます。

今更申上げる事もありませんが、当ヨットクラブの使命の**第一**は学生に存分に活躍して貰う為に、まずは可能な限りの財政的援助を行う事にあります。**第二**は学生達に学生ヨット選手として技能、人格共に一流たる素養を身に付けさせるべく、指導教育する監督、コーチなどを選出しその指導に当たらせる点であります。そしてそれらの課題

をより良く実践する為に400数十名にのぼるOBの一致団結こそ欠かせぬものであり、OBレースなどを通じて親睦を図るのが**第三の使命**であります。然しこれらの課題においてはOB会費の集金率の低さや、部財政の最も大きな部分を占める保健体育実技の将来における不安などなかなか一朝では解決出来ない点も多く、これからも関係OB各位のご協力をお願いしなければならないと存じます。そして監督コーチについては、今年度より他校に比べ極めて対応が遅れていた女子選手の採用も、今回のOB総会にて積極的に進めるべきであるとの決議もなされ、関係者はこれらの新課題に、失敗を怖れず旧習にとらわれる事なく、真剣かつ果敢に取り組んで呉れる事でありましょう。そして以上の目的を達成する為に早稲田OBの一致団結を図るべく、親睦会も各大学ヨット部OB会との対抗戦など多くの機会を設定しておりますので、これらの催しに関しては古いも若きも一人でも多くのOB各位のご参加を戴き、現役学生と共に都の西北を声高らかに歌おうではありませんか。

最後に成りましたが、ヨット界におけるリーダーとして不動の位置を占める早稲田ヨット、品格のある早稲田ヨットの構築を目指して新理事諸氏と共に全力を尽くす積もりで御座いますので、昨年に倍した皆様のご支援をお願いしてご挨拶をおわらせて戴きます。



練習を視察する土肥会長 2003年5月

2003年度の総会開催さる

小沢名誉会長も元気に出席



小澤信三郎名誉会長を囲んで 左から金沢(S29)、岡田(S41)、濱田(S30)、千葉(S30)各OB

二〇〇三年度総会は三月二九日に赤坂永楽クラブで行われた。小沢信三郎名誉会長、石井章夫前会長がお元気な姿を見せ、土肥丈志会長、OBら総勢58人が出席して午後三時から総会を開いた。守屋光雄全理事長ら理事十人に代わって、金刺高雄理事長、武藤忠副理事長ら理事八人(議案紹介、留任含む)が選任された。前年度に亡くなられた七人のOBに黙祷し、新OBとなる旧四年生五人には、門出を祝してエンブレムが贈られた。総会後の懇親会では、二〇〇三年度ヨット部の新スタッフ、水谷謙太主将ら新四年生が今年に懸ける決意を述べた。



土肥会長から新OBへエンブレム、OBバッジ授与式 左より築山(H15)、渋谷(H15)、杉井(S48)、土肥(S36)、平戸(S48)



エンブレムを胸に平成15年卒新OB 左より稲葉、門林、中箸、築山、渋谷各氏)

理事長 金刺高雄 (S42年)



学生新上期 左より 水谷(主将)、細田(主務)、鈴政(副将)、重(渉外)各君。小野(学連)は全日本大会行事参加の為、欠席



校歌を唄う 伊藤宏(H44)、大島慎子(H47)OB

【総会報告】

二〇〇二年度活動報告が守屋理事長が報告した。内容は報告掲載の通り。会員から稲魂の活動費が多いのではないかと、ヨット部は年間どの程度の予算で運営しているのかなどの質問があった。理事長、学生から、稲魂は1回の上架で五〇万円近くかかる、ヨット部では年間では八〇〇万円程度の報告があった。OB会と学生の活動をジョイントさせてほしいとの提案があった。質疑では早風四〇年追悼会について活発な議論があった。会計監査は監事から結果承認の報告があった。

二〇〇三年度については金刺新理事長とヨット部スタッフ以下が紹介された。理事会については特に「若返りを図り、運営に若手を起用する」件が了承された。ヨット部については入学予定の女子がレース要員として入部を希望しており、受け入れとOBとしても援助する同意ができた。活動計画、予算計画などの報告は了承された。新しいOBの渋谷、門林、稲葉、築山、中箸五氏の紹介と挨拶があった。(了)

誌面の関係で、

議案 2002年度活動報告は省略し、
議案 役員を選任と議案 2003年度活動計画を次頁に示します。

議案 役員の選任(案)**役職名 氏 名**

会長	土肥丈志(36年卒)
理事長	金刺高雄(42年卒)
副理事長	武藤 忠(46年卒)
理事	岡田 健(40年卒)
	福島洋二(46年卒)
	久保田悟(62年卒)
	星野禎介(平4年卒)
	(山崎 顕)(平成12年卒)
	濱田 裕(30年卒) 稲魂担当
事務局長	平戸雅幸(48年卒)
講師	石合幸彦(42年卒)
監督	小池充郎(57年卒)
学院監督	宮澤 貢(62年卒)
監査役	木村光成(38年卒)
	長沢和彦(41年卒)

部内推薦委員会(近江部長、監督以下数名)

大学ヨット部スタッフ

ヘッドコーチ	大原義昭(53年卒)
コーチ	加藤文生(33年卒)
	諏訪康弘(平3年卒)
	畠山知己(平6年卒)

学生役員

主将	水谷謙太(人間科学部)
主務	細田 裕(教育学部)
渉外	重 貴由輝(教育学部)

今後の運営について前理事会から「若返り」を託された。理事の選任、監督・コーチの推薦、承認などで「今後の運営に若手を起用する」ことを総会の承認事項とされたい。

議案 2003年度活動計画**活動方針**

本クラブは会員相互の親睦を図り進んで後輩の指導にあたり、もって早稲田大学ヨット部の発展に寄与することを目的に活動する。

具体的活動計画

1. 早稲田大学に対してヨット実技講師を推薦する。
2. 早稲田大学ヨット部に監督・コーチを派遣し、技術指導を行う。
3. 早稲田大学ヨット部に対して経済的援助を行う。
4. その他
 - ・規約の改定について 前年度理事会から「早稲田ヨットクラブ規約」の改定を委任されたが、1年かけて、特に理事会についての条項

に抜けがあるので、理事会を強化・明確にする方向で検討する。(具体的には理事の選出方法や理事長の決定、理事の担当、会議の在り方、審議事項の決定方法などについて明確にし、活性化を図る。)

- ・会報「航跡」の年2回発行
- ・クラブ会員相互間の円滑なコミュニケーションのためにメールを活用する。クラブからの正式メールは理事長が管理する。(具体的には早稲田ヨットクラブのメールナンバーを付す)
- ・若手の起用については年度代表委員の貢献が欠かせない。従って、各会員に年度代表委員の選出に尽力頂くよう働きかける。
- ・一方では、稲魂の運行や航跡の編集など事務諸般については時間的余裕のあるベテランOBの協力が是非とも必要なので広く協力を仰ぐ。

2003年度収支予算計画

収入の部		支出の部	
項 目	予 算	項 目	予 算
前年度繰越	295,453	大学ヨット部補助金	2,500,000
年会費	3,900,000	コーチ補助	100,000
寄付金	620,000	諸会費・会合費	510,000
会合費	280,000	慶弔交際費	150,000
補助金	100,000	OBレース費用	200,000
雑収入	100,000	印刷通信費	500,000
		自動引き落とし手数料	52,000
		稲魂維持費	450,000
		予備費	100,000
		雑費	73,000
		特別基金振替	380,000
		次年度繰越	280,443
合 計	5,295,443	合 計	5,295,443

特別基金

項 目	実 績
前年度繰越	2,881,456
年会費	380,000
利息	379
一般会計振替	0
合 計	3,261,835

@部員増加へ「会費をよろしく」

春の関東インカレを見た先輩から電話をいただいた。「昔は50校ぐらい参加していたけど、今は30校程度。それもスナイプ、470両方にエントリーできなくて片方だけ、なんていうのが伝統校でも起きている。ヨットに魅力が薄れているのかな。まずは部員確保だよ。今後は」とのことだった。理事長を引き受けて、さてどうするか。思案に暮れていた。どうやらその辺がスタートらしい。世代間ギャップが感じられた三月末の総会では、若返りの了解を得たものの、前期理事会から武藤副理事長と共に託された、会規約見直しの進行は今のところはかばかしくない。その後の理事会ではOB会の会費が36%(約一七〇

理事長 金刺高雄 (S42年)

人)に留まっているとの報告があった。ヨット部の活動予算の大半を占める八月の実技も講師によると「今年は実施されるが、来年は確証がない」とのことだ。課題だった女子部員の入部問題は監督から、セクハラなどトラブルがないよう気を付けると連絡があった。

はやりのスローライフではないが、急がずの一つひとつ。まずは部員を増やし、OBには会費を払っていただいて。少なくとも会費支払い率50%(約二三〇人分)を達成しないと、学生への援助は年間二五〇万円を超えられず、苦しい。この航跡を読んだ皆さんよろしくお願いします。「OB会費を忘れずに。」(了)

やったァ！ 伝統の早慶戦 初の六連覇

～応援観戦記～

事務局長 平戸雅幸 (S48)

去る6月7日、8日に三戸浜沖にて第63回早慶ヨット定期戦が470クラス、スナイプクラス各4艇で行われ、我が早稲田チームは470クラス、スナイプクラス共に良く走り、伝統の一戦で初の六連覇を達成しました。これで通算成績は32勝30敗1引き分けです。今年の早慶戦は両校共に女子が参加し活躍し、両チーム共に激しいチームレースに徹したタクティクスに目を見張りました。5月の春季インカレでは、総合で早稲田2位、慶応3位、470クラスでは早稲田1位、慶応3位、スナイプクラスでは早稲田5位、慶応6位の成績で、今年こそはとの慶応側の意気込みが感じられ、慶応観覧応援艇も多数参加し応援に力が入っていました。レース成績の方では、早稲田チームは初日から470クラス10点、スナイプクラス7点リードで二日目を迎えました。

早稲田側観覧艇は拡声器を使って校歌・応援歌を流し対抗しましたレース終了後の470クラスのトラピーズでの凱旋パレードでは応援観覧艇の皆さん大変満足し喜ばれている様子でした。

最後になりましたが、監督・コーチはじめ運営手伝いの若手OBの方々お疲れ様でした。



二日目の出艇風景

参加者：

開会式：6/7 加藤 S33、守屋 S40、岡田 S41、武藤 S46、福島 S46、平戸 S48、小池 S57、久保田 S62、諏訪 H2、羽田 H13。

本部船：6/7,6/8 諏訪、羽田

運営艇(紺碧)：6/7 加藤、小池、渋谷 H15、6/8 大原 S53、小池、畠山 H6、永野間 H14、渋谷 H15
レスキュー(ラバー艇)：6/7、6/8 門林 H15

閉会式：6/8 大原、小池、諏訪、畠山、羽田、永野間、門林、渋谷。

観覧艇げっこう：6/7 金刺 S42、岡田 S41、武藤 S46、福島 S46、千把 S48、平戸、久保田

6/8 千葉 S30、金沢 S29、米田 S29、鈴木(賢)S30、中田 S32、杉井 S48、平戸

ダボハゼ：6/7,6/8 土肥 S36、並木 S34

以下に大原ヘッドコーチの早慶戦報告を抜粋します。

> 早慶戦 応援ありがとうございました。
> 成績をお知らせします。トータル4レースです。

>

	470	スナイプ	総合
> 早稲田	59 9/4	63 6/4	122 15/4
> 慶応	83 3/4	80 6/4	163 9/4

(注：1位 3/4、以下2-8位は2-8点)

> おかげさまで6連覇を達成しました。

> OBの方々の物心両面にわたるご支援の賜物です。

早稲田ヨットクラブの皆様へ ~ 15年度ヨット実技(佐島)ご協力依頼~ 早稲田大学実技講師 石合幸彦 (S42年)

拝啓、新緑の候、OBの皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。例年のヨット実技の運営にはOB諸氏の格別のご協力を頂きまして心より厚く御礼申し上げます。

早いもので、佐島マリーナ開催のヨット実技も3回目を迎える事となりました。今年度の実技の規模も昨年通りA、B各40名の2クラスを予定しております。

ご承知の通り、今年4月より体育局が廃止と成り、体育実技は本部のオープン教育センターの所屬と成りました。昭和24年から営々と継続して来ましたヨット実技も大学改革の中で不透明な時期をむかえております。ただ、80名の定員に対し200名以上の履修希望者がいる人気科目であるヨット実技はより充実したものとしていかなばならないと考えております。

現状部員数は16~7名と低迷しております。ディングー10隻、クルーザー2隻の運行の為には、OBの皆様のご協力無しでは不可能です。是非お力をお貸し下さいます様お願い申し上げます。

敬具

2003年稲魂活動状況と予定

2003年の活動状況と予定を報告します。学生部員を含め、同期会や家族、勤務先、友人、その他のグループで活用して下さい。動かすことが艇のメンテに必要です。

平成15年の運航実績及び予定について

定期運航は、毎月2回、年間を通じて24回。夏(4月 9月)10時、冬(10月 3月)11時集合。

「体育実技」の研修艇として、回航を含め11日間。

佐島マリーナにて、7月31日 8月10日 学生、OBレースの本部艇、支援艇、観覧艇として

- * 1月26日運航、風2-5m・2-3ノット帆走で北北東の江ノ島方向へ、3時間で帰港
- * 2月は9日、23日に運航
- * 3月は16日・30日運行。 上架・船底清掃・塗装とその他の補修をABSで実施。
- * 4月は6・7日 油壺-江ノ島 ノルウェー友好記念レース観覧
- * 5月は3・4日 関東インカレ決勝レース観戦と油壺-江ノ島回航 湘南港N-11バースに係留 11日(日)鎌倉養護学校クルーザー楽しむ会のボランティア 17日(土)ヨット部新人試乗会(待機) 25日(日)江ノ島10時定期運航、

記

日時：Aコース(40名)7月31日~8月5日
Bコース(40名)8月5日~8月10日

場所：佐島マリーナ
神奈川県横須賀市佐島 3-7-4
.0468-56-0141

規模：スナイプ級 5隻、470級 5隻、稲魂号(GIBSEA37)、スーパーサンバード号(ヤマハ41)、レスキュー艇 紺碧号、ラバーボート 補助員部員16名、女子マネ3名

連絡方法：下記の何れかの方法で石合までご連絡頂ければ幸いに存じます。

- 1) 石合 e-mail apf@maple.ocn.ne.jp
- 2) 石合電話(自宅)048-223-8730
- 3) 石合電話(会社)048-222-5957
- 4) 石合FAX(自宅)048-223-8742
- 5) 石合FAX(会社)048-225-1705

以上

稲魂担当理事 濱田裕(S30年)

- * 6月は、7・8日の早慶戦(観覧艇月光)と10大学OBレース(諏訪湖)に手分けして、参加のため運航しません。
- * 7月12日、13日 葉山回航 全日本A級ディング選手権の観覧艇予定 26日 東京6大学OB戦の観覧艇予定 27日 夏の大学体育実技の準備予定。
- * 8月 大学体育実技参加予定 佐島マリーナ(7月31日-8月10日)
- * 9月 東京六大学、五大学定期戦(森戸) 応援予定
- * 10月 秋季関東インカレ応援予定
- * 11月 全日本インカレ応援(西宮)未定
- * 12月(忘年会)

運航予定の連絡方法について

- * 運航予定を、毎月の前月末に「早稲田ヨットクラブ」ホームページWYC掲示板に掲載 <http://www.wasedayacht.org/>
- * 独自に運航予定のある学生、OBの場合、前月25日までに濱田宛に連絡 E-mail: yacht_hamada@yahoo.co.jp TEL・FAX: 0426-44-8261 携帯: 090-1043-2507

<稲魂の江ノ島移転>

2003年は江ノ島をベースに三崎、油壺、佐島、葉山と広域的な活動が期待されます。

学生だより 「五大戦、春インカレ、六大戦を終えて」

早稲田大学ヨット部主将 水谷謙太

今回、この春に行われたレースシーズンに求めたのは2月、3月の春合宿の成果でした。

今年の部のコンセプトとして
日本一になるために

- ・より効率よく
- ・そして、常に最新の考えで練習をしていく
ということを掲げました。

まず始めに、ライバル校との比較をし、何が通用して何が足りないのかを分析してきました。練習メニューはその日のコンディションにあったことを選択してきました。帆走で差がつくコンディションであれば帆走を徹底し、タクティクスで差がつくコンディションであれば、風を見る練習をしてきました。また、他艇とのかけひきというものが足りないと思ったので、混戦で当たり負けしないようにするための練習をしてきました。実際のレースを振り返ってみると、今回のレースの結果が現段階での実力だと思います。

反省としては、普段しないようなミスやありえない失敗を3レガッタ通じてしていました。私が思うのは、失敗をしているのが本当の実力だと思います。そして、レースが終わった後にしっかりと現状を受け入れさせ、今後の成長の材料としました。これからの方向性としては、今まで取り組んできたことに今回得たものを加え、より効率的で質の高い練習をしていきたいと思っています。

秋季関東インカレ、全日本インカレ(西宮)制覇を目標に頑張りますので応援をお願いします。

2003.5 葉山にて (大原ハット コーチ撮影)



上期 左より 学連小野学 スイブ 本社 社4年、副将鈴政晃司 470 安芸南 人4年、主将水谷謙太 470 碧南 人4年、渉外重貴由輝 470 唐津西 教4年、主務細田裕 スイブ 桐陰学園 教4年、市田沙弥 マネージャー 白百合学園 教4年、松本智恵 マネージャー 都立両国 政4年



三期 左より 副務三輪成徳 スイブ 早稲田 教3年、石山雄大 470 早大学院 社3年、中川義郎 スイブ 早大学院 商3年、(上原永可 マネージャー 都立南多摩 教3年)



二期 左より 内田哲 470 川越 商2年、天貝謙介 470 土浦日大 人2年、関口功志 スイブ 半田 人2年、学連 栗原佑典 スイブ 聖光学園 商2年、会計 土田吉浩 スイブ 鶴岡中央 社2年



左より 南野里佳 スイブ 西南学園 政1年、高橋伶生 スイブ 早大学院 理1年、高橋洸志 470 三ヶ日 社1年、(浜口睦美 スイブ 鳥取西 社1年)



2003年学生ヨットレース結果および予定

- (1) 2003.4.13 五大学戦(葉山)
470級2位、S級4位、総合4位
- (2) 2003.5.3~4 関東学生ヨット選手権春季決勝(葉山) 470級1位、S級5位、総合2位
- (3) 2003.5.10 東京六大学戦(初声マリーナ)
470級2位、S級2位、総合2位
- (4) 2003.6.7~8 第68回早慶戦(三戸浜)
470級1位、S級1位、総合1位

- (5) 2003.6.14~15 同志社戦(琵琶湖)
470級1位、S級2位、総合2位
- (6) 2003.7.31~8/10 体育実技(佐島マリーナ)
- (7) 2003.9 東京六大学戦(葉山 森戸海岸沖)
- (8) 2003.9 5大学戦(葉山 森戸海岸沖)
- (9) 2003.10 秋季関東学生ヨット選手権大会(葉山)
- (10) 2003.11 全日本学生ヨット選手権大会(西宮)

2003年OBヨットレース結果および予定

- (1) 10大学OBヨットレース
6月7日(土)・8日(日)諏訪湖
幹事：木内 S40
参加者：松本 S30、濱田 S30、石合 S42、伊藤 S44 成績：15校中13位
- (2) 第13回全日本A級ディンギー選手権大会IN葉山
7月12日(土)、13日(日) 葉山港(鑑摺)
幹事：千葉 S30

早稲田ヨットクラブの皆さんへ

A級ディンギー保存会からのお知らせ

幹事 千葉栄作

毎日のお勤めご苦労様です。海のシーズンがやってきました。偶には潮風(自然)にふれてリフレッシュしませんか? 今年もA級ディンギーの全国大会が行われます。おじさん、おばさんセーラーの集まりです。勝つことよりディンギーでセーリングすることが主な目的です。お仲間とワイワイ言いながらレースを楽しんでみませんか。

2003第13回全日本A級ディンギー選手権大会 IN葉山(参加チーム34)

日時：平成15年7月12日(土曜)13日(日曜)

場所：葉山港(鑑摺)

観覧艇：げっこう、稲魂 レース：10レース位

パーティ：12日(土)夕方

宿泊：希望人数により手配(逗子マリナー)

費用：レース参加のみ(無料)

弁当・パーティー・記念品代 約9,000

参加希望の方は下記へメールまたはファックスを下さい。

お願い：A級ディンギー保存会維持費(保管代・艇運搬料・備品等)のため会費を募集中です。

金額はお任せいたします、ご協力お願いいたします。

連絡先：napoleon@mti.biglobe.ne.jp

Fax:045-251-3403 千葉 栄作

振込み銀行：みずほ銀行新宿新都心支店

普通 906243 A級ディンギーを保存する会

- (3) 東京6大学ヨットOB戦
7月26日(土) 葉山
幹事：岡戸 S42、原田 S46

“練習は早稲田走ると冷やかされ”

6/14(土)、6大学OB戦(7/26)の練習に参加したので報告します。

早稲田は今回の2回目練習より初参加(1回目は5月)立教は今回も不参加。早稲田参加者は、舟岡、岡戸、金刺、武藤、平戸の5名。

慶応は、牧村会長、野崎、日比谷、小川氏ら6名。明治、東大も数名。

法政は山田氏ほか8~9名と最も多数で若手も参加。

朝9時集合、当日は、南よりの風3~5m、13時頃はピークで時折7~8m、上下マークの2周で、3回のレース練習を行い早稲田(7号艇)は2回トップ目、練習では早稲田が良く走ると冷やかされた。練習後、あぶずり食堂にて昼食をとり15時頃解散。

7/26の本番では、若手の参加で是非、優勝を目指しましょう。

- (4) 4大学OBヨットレース
10月4日(土)、5日(日) 葉山マリナー
幹事：平戸 S48、久保田 S62

三田ヨットクラブ廣瀬様から下記の第一報がありました。

『恒例の秋の4大学OB定期戦、今年三田ヨット倶楽部がホスト役となります。日程が決定しましたので第一報をご連絡します』

前夜祭 10月4日(土)

レース 10月5日(日)

宿泊 KKR逗子 松汀園(しょうていえん)

<http://www5.ocn.ne.jp/~kkk-zusi/>

宿泊場所は前回も使用した神奈川県警葉山荘を予定していましたがこの春で、閉館となりましたので探し回った結果上記にしました。多少手狭ですがご容赦ください。各OB会員にお知らせください。よろしくお願います。』

会員・年度委員へのお願い

会員管理事務局

平成12年度版の名簿を見直して平成15年度版名簿を作成する予定です。名簿作成にあたりましては、各代をとりまとめる年度委員の協力が不可欠です。別途、理事会から各年度の委員の委嘱等がありましたらご協力をお願いします。連絡先等変更がありましたら事務局(会員管理担当)まで一報ください。 E-mail: membership-office@wasedayacht.org

平成12年度委員

~27 米田晴二	34 並木茂士	42 金刺高雄	50 藤井達也	58 黒田浩司	H3 槐島健
濱田裕	35 池田雄五	43 冬至真也	51 冬至克也	59 市井久也	H4 川島太
28 石井章夫	36 原田弘	44 須藤桂司	52 川瀬修平	60 瀬川洋二	H5 石井慎二
29 安藤一夫	37 原田武	45 大矢木一	53 野口正文	61 野本久	H6~9 畠山知己
30 千葉栄作	38 出基人	46 藤田亨	54 小川寛樹	62 久保田悟	H10 小畑和之
31 舟岡正	39 宮田邦夫	47 早川恒男	55 白石裕之	63 渡辺誠二	H11 田中康夫
32 中田忠雄	40 木内博太郎	48 杉井謙治	56 風間利也	H1 川原康嗣	H12 山崎顕
33 加藤文生	41 森昭	49 三塚正文	57 石渡一浩	H2 清水宏和	

事務局だより

< 会費納入の案内 >

会費については、毎年1月27日に銀行口座から自動引落しをさせて頂いております。まだお済でない方は、下記OB会銀行口座へ直接お振込み頂くか、または別添の専用郵便振替用紙で、2003年度(2003.1~2003.12)会費2万円を振込み願います。

(銀行振込先)

早稲田ヨットクラブ会費振込先銀行口座：
みずほ銀行 日本橋支店 1445739
口座名義：早稲田ヨットクラブ

お問い合わせは、事務局(財務会計担当)まで。
E-mail: financial-office@wasedayacht.org

< 早稲田ヨットポータルサイト 1年目 >

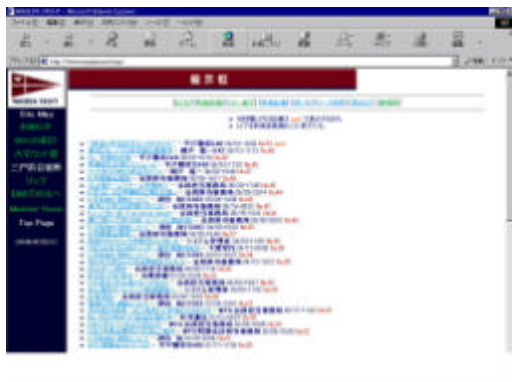
早稲田ヨットクラブのポータルサイト(玄関口の意) <http://www.wasedayacht.org/> を開設して1年目になります。この間、多くの励ましのお便りや、ご批判も頂きました。

これらを糧に再度、『進取の気風』の原点に立ちかえって、発想を転換し粘り強く、皆で新しい早稲田ヨットの情報発信しようではありませんか。

ホームページのうち一部は会員限定になっています。Member Roomに入るには、IDとパスワードが必要です。IDは **wasedayacht** パスワードは、早稲田フラッグシップ名：**WASEDAYACHT** です。Member Roomには、WYC 掲示版 WYC メール カレンダー メンバ所有艇のメニューがあります。

WYC 掲示版は、自由に投稿できるフォーラム型の掲示板です。会員の親睦を図ることが目的ですので遠慮なく投稿してください。転勤時に地域OBへ自己紹介なども載せてください。思わぬ交流に繋がるかもしれません。クラブや大学等の動きも解ります。一度、覗いてやってください。

(WYC 掲示版 の例)



WYC メール メールに通じていない方のために XXXX@wasedayacht.org なる E-mail アドレ

スを用意することが出来ます。ここからメールの送受信ができます。アドレスの要望があれば事務局(システム管理)まで問い合わせ下さい。

E-mail: webmaster@wasedayacht.org

カレンダーは WYC・部の年間スケジュール
メンバ所有艇 各泊地の紹介(準備中)

今後の、ホームページの拡充予定:

- ・航跡年表 早稲田ヨットの歴史(1985年以降)
 - ・WYC 会員所有艇情報
 - ・海外への情報発信
 - ・相互親睦の“わらしべリンク風土”の醸成
 - ・学生ヨット部ホームページの支援
- 若い世代の会員の参画をお願いします。

< 理事会の開催 >

理事会に気軽に参加下さい。会員皆様のご意見ご要望をお待ちしております。また、メールでの投稿は理事会メンバ全員のメーリングリスト wycscg-ml@wasedayacht.org 宛に願います。(WYCのSteering Committee Group)

日時: 毎月第3木曜日

場所: 赤坂永楽倶楽部(千代田区永田町2-12-4
山王興和ビル7階) 電話 03-3580-0046

(注) 理事会議事録等はホームページ
Member Room の WYC 掲示版に掲載。

< 寄付の窓口 >

早稲田大学ヨット部へ指定寄付を希望される方は、事務局(財務会計担当)までお申し出ください。大学の領収書が発行され、税の優遇がえられます。

E-mail: financial-office@wasedayacht.org

< ご意見をお寄せ下さい。 >

WYC 会長 土肥文志

E-mail: doi-takeshi@bea.hi-ho.ne.jp
〒158-0082 東京都世田谷区等々力3-16-19
: 03-3704-1383

ファックス番号: 03-3862-0703

WYC 理事長 金刺高雄

E-mail: kanezashi@pressnet.or.jp
〒226-0003 横浜市緑区鴨居7-9-8
: 045-933-6370

ファックス番号: 045-933-6370

WYC 事務局長 平戸雅幸

〒232-0061 横浜市南区大岡1-52-10
E-mail: masayuki.hirato@nifty.ne.jp
: 045-715-4498

ファックス番号: 045-715-4496

携帯電話: 090-9857-4726

編集人 平戸雅幸